

博士後期課程 言語科学専攻

1. 入学前に修得が期待される能力

博士後期課程言語科学専攻での学修を希望する者に対して、入学選抜においては、以下のような能力の有無について評価します。

- 1.志望分野に関する専門的知識
- 2.研究を通じて学術の高度化に寄与する総合的思考力と批判的判断力
- 3.多様性に対する認識と協働に必要なコミュニケーション能力

2. 入学後の学びに対する姿勢

入学後の学修については、以下のような姿勢を求めます。

- 1.高度な専門知識と卓越した研究力を修得するための主体的に取り組む姿勢
- 2.理論と実態、理論と実践の関係性について深いレベルで理解しようとする姿勢
- 3.広い視野に立って専門的観点から諸問題に対して解決策を見出そうとする姿勢
- 4.社会的・文化的多様性の理解に基づき地球社会の共生に寄与しようとする姿勢

3. 入学者選抜の方法

受験者の能力と姿勢を総合的に評価するために、書類審査、外国語筆記試験、および、口述試験を行います。